

2022年度年末手当

11/9 第2回団体交渉開催!

ボーナス大幅削減 定昇カット ベアゼロ

が離職の最大の理由!

政府は景気の現状を「持ち直し」としていますが、景気は低迷しているのが実態であり、物価高騰と低賃金により労働者の生活苦が続いています。

労働者一人当たりの平均賃金では1.7%増となっていますが、8月の消費者物価指数が3.5%上昇したことにより、賃金の伸びが追いついていないのが実態です。

組合の調査では、離職者数は2017年度の約230人から2021年度の約770人へと約3倍化していることから、会社に対し、

- 会社として「退職者が増えている」との認識はあるのか!
- せっかく入社した若手社員が離職していることに、会社は危機感を持つべきだ!
- 社員の一番の関心事である賃金・手当での改善を図ることが必要だ!

と、国労の主張を訴え、東日本本部で行った年末手当アンケートから、集約された仲間たちの声を伝えました。

離職者が増えていることは認識しているが、賃金・手当以外でも労働条件改善を図り、しっかり安定的に社員還元を進めていく。会社の持続的な発展が、働きがいの向上や社員・家族の幸福の実現につながっていくという考えに変わりはない。

支給水準は直近の業績動向を念頭に慎重に判断しなければならない。



組

持続的な発展は社員の奮闘があつてこそ。定期昇給半減、ボーナスの大幅カットにより、早期退職が止まらない状況であつてはならない。これ以上離職者を増やさないために賃金、手当、労働条件改善を強く求める。

黒字化を
達成した

社員の労苦に応えるべきだ!